

事例番号:380103

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第三部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 38 週 4 日 胎児心拍数陣痛図で、一過性頻脈、基線細変動を認め、一過性徐脈を認めない

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 39 週 2 日

16:05- 胎動の変化を訴え搬送元分娩機関を受診、胎児心拍数陣痛図で頻脈、基線細変動減少、軽度遷延一過性徐脈を認める

17:30 常位胎盤早期剥離疑いまたは胎児不整脈疑いのため当該分娩機関に搬送され入院

4) 分娩経過

妊娠 39 週 2 日

19:05 胎児機能不全および常位胎盤早期剥離疑いのため帝王切開にて児娩出

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:39 週 2 日

(2) 出生時体重:3600g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.31、BE -4.4mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 4 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 新生児仮死

(7) 頭部画像所見:

生後 6 日 頭部 MRI で低酸素性虚血性脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

＜搬送元分娩機関＞

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 3 名

＜当該分娩機関＞

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ:助産師 2 名、看護師 3 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、入院前の妊娠 38 週 4 日以降、入院となる妊娠 39 週 2 日までの間に生じた一時的な胎児の脳の低酸素や虚血によって中枢神経系障害をきたし、低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考える。

(2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、臍帯血流障害の可能性を否定できない。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 搬送元分娩機関

ア. 妊娠 39 週 2 日、胎動の変化を心配する電話での問い合わせを受けて来院を指示したことは一般的である。

イ. 妊娠 39 週 2 日、来院した際の対応(分娩監視装置装着、超音波断層法)は

一般的である。

- リ. 妊娠 39 週 2 日入院後の胎児心拍数陣痛図で、頻脈、基線細変動が乏しいと判読し、超音波断層法で常位胎盤早期剥離の徴候は明らかではないが臍上部付近の腹部が硬いことから常位胎盤早期剥離疑いまたは胎児不整脈疑いと診断し、当該分娩機関に母体搬送としたことは一般的である。

(2) 当該分娩機関

- ア. 入院時の対応(超音波断層法、分娩監視装置装着、血液検査)は一般的である。
- イ. 入院時の超音波断層法で胎盤後血腫や胎盤の辺縁剥離徴候は認められないものの、胎児心拍数陣痛図で頻脈、基線細変動乏しい、一過性頻脈なし、一過性徐脈なしが認められ、胎児機能不全および常位胎盤早期剥離疑いと診断し、緊急帝王切開を決定したことは一般的である。
- ウ. 帝王切開決定から 1 時間 3 分後に児を娩出したことは一般的である。
- エ. 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- オ. 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管)は一般的である。
- (2) 新生児仮死のため、当該分娩機関 NICU へ入院としたこと、および低体温療法の適応を考慮し B 医療機関 NICU に搬送したことは、いずれも一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

- 1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児期に中枢神経系障害を発症した事例について集積し、原因や発症機序について、研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

胎児期の中枢神経系障害発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。